



# K 中通 信

学校だより 6号  
平成29年9月 4日  
横浜市立軽井沢中学校

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>

## 【学校教育目標】 『心豊かにたくましく生きる生徒の育成をめざします』

- 学ぶことの楽しさを知り、創造的に考える力を育てます (知)
- 自他の生命を尊重し、礼儀と思いやりをもって行動する力を育てます (徳・体)
- 多様な文化を理解し、地域や社会に積極的ににかかわり貢献する力を育てます (公・開)

雲走り 雲追ひ 二百十日哉

～ 正岡 子規 ～  
校長 星野 久美子

前半は猛暑、後半は不安定な天気が多かった夏休みも終わり、校舎に生徒たちが戻ってきました。  
立春から数えて210日目を二百十日（にひゃくとおか）と言い、台風が来るなど天候が荒れることが多い日と言われます。今年は9月1日が二百十日にあたり、台風15号が日本列島に接近しました。  
日本は豊かな自然に恵まれています、反面、自然災害も多く起こります。常に災害への備えを心がけましょう。

### 横浜子ども会議

#### テーマ「もう一度、いじめの問題に向き合い、自ら解決しようとする子ども社会を作ろう」

大きな社会問題となっているいじめですが、いじめ根絶に向けて、子ども達自身がいじめを自らの課題ととらえ、主体的に取り組むことが必要であることから2013年から横浜子ども会議が開催されています。8月30日、西区市立小学校・中学校の代表が参加する西区横浜子ども会議が開催され、参観をしてきました。

事前に中学校ブロックで話し合いを行い当日の会議を迎えました。当日は市立高校生の司会で、各ブロックごとに活発な意見の交換が行われました。

高校生からは、『いじめの起こりにくい雰囲気をつくらせて作ろう』というメッセージがありました。さて、そのためにはどうすればいいのでしょうか？

言葉を理解するだけでなく、一人ひとりが雰囲気作りについて具体的に考え、家庭や学校などで話し合い実行に移すことで、学校がさらに安心して豊かに過ごせる場所にしていきましょう。

#### ＜ 横浜子ども会議での話し合いを振り返って ＞

いじめをする人と。いじめを受ける人だけでなく、周りの人が声かけをするなど、見ているだけでなく勇気をもって一歩ふみ出すことの大切さを再認識しました。(中略)

子ども会議に参加して、自分では思いつかないような新鮮な意見を聞くことができたと思います。評議会での話し合いや生徒会本部役員が中心となって活動する「あいさつ運動」だけでなく、いじめの根本的な解決につながる長期的な活動をおこなっていきたくです

生徒会長 西谷 樹

### 軽井沢中ブロック小中合同職員研修会



8月25日(金)、小中合同職員研修会が行われました。新しい教育課程編成に向けて今後のスケジュールを確認した後、「9年間で子どもにどのような力を身につけさせたいか。」というテーマで、横浜市学力・学習状況調査などの資料をもとに子どもの実態を分析しながら、教科ごとのグループに分かれ話し合いました。

ここに話し合いの内容を、一部紹介します。

- ・健康への意識が小学校では学年が上がるほど高まり、中学校でも持続しているのは本ブロック児童生徒の良さ。
- ・表現したり周りに伝える力をさらに高め、知識を活用していく力を育てたい。
- ・決められたことだけでなく、自ら問題を見つけ、解決する力を身につけさせたい。
- ・主体性を育み、他者と協働する力を身につけさせたい。
- ・仲間意識が高いが、さらに公共心を高め、社会参画につなげたい。
- ・成功体験を増やし、自己肯定感を高めたい。これが他者との協働につながる。
- ・一人ひとりを尊重し、つながりを大切にした教育を推進するために、さらに議論を深め、ブロックで育てる子ども像を明確にしていきたいと考えます。